

①「午後8時までの時短・酒類提供なし」を選択した認証店 及び 非認証店

協力金支給申請額計算書

店舗名 (屋号)

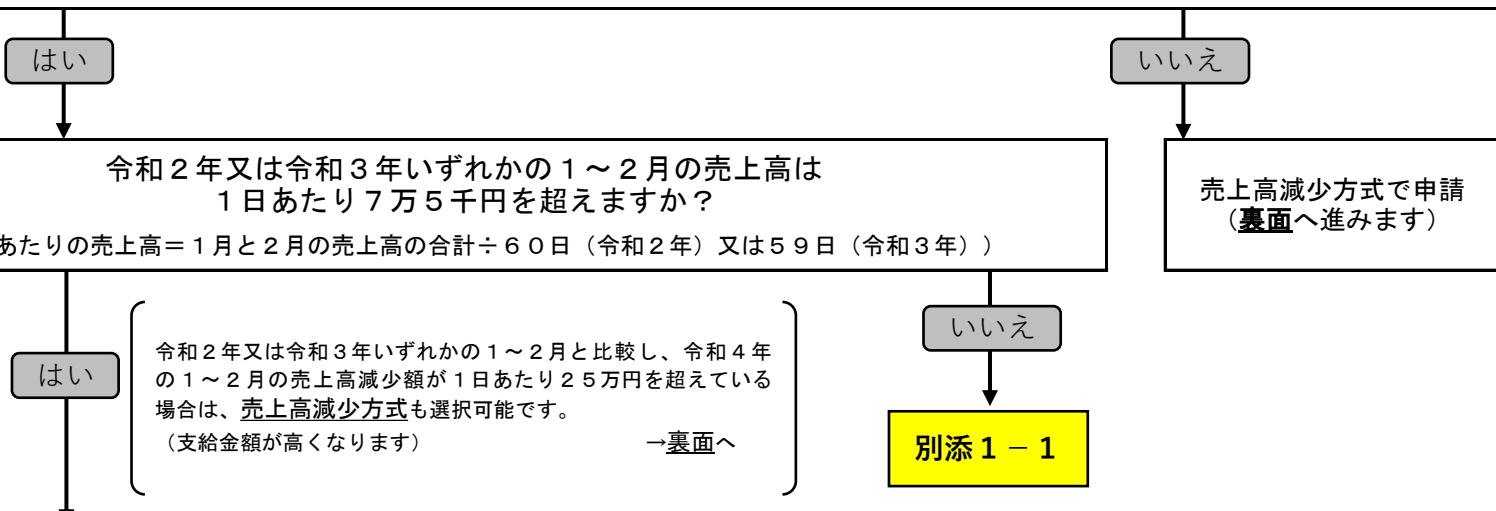
以下のフロー図の質問を基に、該当する計算方法を選択していただき、数値を記入してください。
支給額等を必ずご確認の上、「上記内容で申請します」にチェックしてください。

【売上高方式】

※売上高は、飲食業（宅配、テイクアウトサービスを除く）とし、消費税及び地方消費税を除いた額となります。

中小企業又は個人事業主ですか？

※中小企業は、飲食業については資本金の額又は出資の総額が5,000万円以下の会社又は常時使用する従業員の数が50人以下の会社及び個人。
ただし、カラオケなどのサービス業については、資本金の額又は出資の総額が5,000万円以下の会社又は常時使用する従業員の数が100人以下の会社及び個人。（みなし大企業は除く）



1 (A) 又は (B) いずれかの方式を選択し、支給単価を計算してください。

(A) 月単位方式

令和2年又は令和3年1月の売上高	①	円	+	①で選択した年の2月の売上高	②	円	=	③	円
↓									
①+②		円	÷	60日又は59日	日	×	0.4	=	円
↓									
									千円未満切上 1日あたりの支給単価 ★A 円 ※最大10万円

小数点以下切上

(B) 時短要請期間方式

令和2年又は令和3年の時短要請期間と同日付(1/27～2/20)の売上高	円	÷	要請期間 25 日	×	0.4	=	円		
↓									
									千円未満切上 1日あたりの支給単価 ★B 円 ※最大10万円

小数点以下切上

2 1で計算した1日あたりの支給単価(★A又は★B)を用いて、支給額を確定してください。

1 1日あたりの支給単価 で選択した単価を入力してください	円	×	時短協力日数 (最大25日)	日	=	当該店舗の支給額 円
----------------------------------	---	---	-------------------	---	---	---------------

チェック **上記内容で申請します (※確定申告書等の写しが必要です)**

別添 2

店舗名（屋号）	
---------	--

【売上高減少方式】

※売上高は、飲食業（宅配、テイクアウトサービスを除く）とし、消費税及び地方消費税を除いた額となります。

令和2年又は令和3年いずれかの1～2月と比べて
令和4年の1～2月の売上高は減少していますか？

はい

いいえ

申請できません
(中小企業者等の場合は、売上高方式（前頁）により申請できます)

1 (1) 又は (2) いずれかの方式を選択し、売上高減少額を計算してください。

(1) 月単位方式

令和2年又は令和3年1月の売上高 ①	円	+	①で選択した年の2月の売上高 ②	円	=	③	円
-----------------------	---	---	---------------------	---	---	---	---

令和4年1月の売上高	円	+	令和4年2月の売上高	円	=	④	円
------------	---	---	------------	---	---	---	---

③	円	-	④	円	=	◎	円
---	---	---	---	---	---	---	---

売上高減少額 (③-④)

(2) 時短要請期間方式

令和2年又は令和3年の時短要請期間と同日付 (1/27~2/20) の売上高	円	-	要請期間中 (25日間) の売上高	円	=	◎	円
--	---	---	-------------------	---	---	---	---

売上高減少額

2 1 で計算した売上高減少額 (◎) を用いて、1日あたりの支給単価を計算してください。

1 で計算した (1) 又は (2) の売上高減少額を入力してください ◎	円	÷	(1) を選択した場合、60日 (令和2年) 又は59日 (令和3年) (2) を選択した場合、25日	日	×	0.4
		小数点以下切上				千円未満切上
=		円	→	★	円	1日あたりの支給単価

※最大20万円

3 2 で計算した1日あたりの支給単価 (★) を用いて、支給額を確定してください。

1日あたりの支給単価 ★	円	×	時短協力日数 (最大25日)	日	=	当該店舗の支給額	円
-----------------	---	---	----------------	---	---	----------	---

チェック

上記内容で申請します

(※確定申告書等の写しが必要です)